

議員提出議案第3号

核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和元年9月24日

芦屋市議会議長 中島 健一 様

提出者	芦屋市議会議員	大塚 のぶお
	〃	大原 裕貴
	〃	中村 亮介
	〃	川島 あゆみ

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣

## 核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書

広島・長崎の原爆被爆から74年が経過しました。

この地球上から核兵器をなくすことは、「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えてきた原爆被爆者の悲願であり、核兵器を「つくり」「持たず」「持ち込ませず」の『非核三原則』を国是とするわが国の政策とも一致するものです。

今、核兵器廃絶をめざす国際社会の潮流は、大きく強くなってきています。

その一つが、2017年（平成29年）7月に国連で122カ国の賛成を得て、核兵器禁止条約が採択されたことです。条約は冒頭で「核兵器のいかなる使用もそれがもたらす壊滅的な人道上の帰結を深く憂慮し」、第1条で「核兵器の開発、実験、生産、製造、保有、貯蔵、移譲、受領、使用、使用の威嚇」を全面的に禁止しており、画期的な内容です。

さらに、この条約採択に際し世界各国で大きな貢献をしたとして同年10月にICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）がノーベル平和賞を受賞したことは、核兵器廃絶へ向けての国際的な合意を強く後押しするものです。

日本政府は、今こそ地球上の核兵器廃絶に向け、政府間の調整役など国際社会から期待される主導的役割を果たすべきです。

核兵器の一刻も早い廃絶を願い、1985年（昭和60年）に「非核平和都市宣言」を決議した本市議会として、日本政府および国会に対し、核兵器禁止条約に署名・批准することを強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

芦屋市議会